

- 問1 室町時代に足利義満が開始した日明貿易では、「勘合（勘合符）」と呼ばれる札が使用されました。この制度が導入された背景や目的を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 朱印状を持つ商人にのみ、東南アジア諸国との自由な交易を認めるため
 2. キリスト教の布教を目的とする宣教師の入国を厳しく制限するため
 3. 倭寇と呼ばれる海賊と、正式な朝貢貿易を行う船を区別するため
 4. 遣隋使の時代から続く、対等な立場での国交を維持し続けるため
- 問2 室町時代における経済制度の一つである「座」の仕組みについて、当時の社会背景を踏まえた説明として正しいものはどれですか。（2016年 広島県公立入試 類似）
1. 外国との貿易を円滑に進めるために作られた公的な機関であり、銀の輸出を独占的に行っていた。
 2. 武士が商業を管理するために組織したもので、農村から都市への人口流出を防ぐことを目的としていた。
 3. 商人や手工業者が有力な寺社や公家に所属し、奉仕や納税を行うことで、他者の営業を排除する特権を得ていた。
 4. 織田信長が楽市・楽座を導入したことにより、それまで座が持っていた特権が全国でさらに強化された。
- 問3 琉球王国が行っていた貿易の仕組みと、その背景について説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
1. 中国から輸入した生糸や絹織物を、国内の需要を満たすためにすべて自国内で消費し、海外への転売を禁じた。
 2. 鎖国体制下の長崎において、清やオランダとの限定的な取引を仲介することで独占的な利益を上げた。
 3. 日本や朝鮮、東南アジアなどの各地から集めた産品を、中国など別の地域へ転売することで大きな利益を得た。
 4. 幕府から朱印状を与えられた商船が、東南アジア各地に日本人町を建設して直接取引を行うことを目的とした。
- 問4 14世紀前半に足利尊氏が鎌倉幕府を倒した後、朝廷が2つに分かれて対立する時代が続きました。この動乱に終止符を打ち、室町幕府の支配体制を安定させた出来事はどれですか。（2022年 宮城県公立入試 類似）
1. 南北朝の統一
 2. 建武の新政の開始
 3. 応仁の乱の終結
 4. 元寇（モンゴル軍の襲来）
- 問5 1467年から始まった応仁の乱において、直接的な対立の構図となった有力な守護大名の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2017年 奈良県公立入試 類似）
1. 細川氏と山名氏
 2. 武田氏と上杉氏
 3. 北条氏と足利氏
 4. 平氏と源氏
- 問6 1400年代後半、室町幕府の権威が衰え、各地で下克上の風潮が強まる中で起こった「山城国一揆」について、その内容を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 愛媛県公立入試 類似）
1. 浄土真宗（一向宗）の信仰で結ばれた人々が、守護大名を倒して約100年間にわたる自治を行った。
 2. 徳川幕府によるキリスト教禁止や重い年貢の取り立てに反発した人々が、九州で起こした大規模な反乱である。
 3. 地元の武士や農民が団結し、守護大名を追放して自分たちの手による自治を約8年間維持した。
 4. 借金に苦しむ農民たちが「徳政令」を求めて京都に攻め上り、幕府に借金の帳消しを認めさせた。
- 問7 室町時代の出来事を記した年表において、1428年に発生した「正長の土一揆」は、日本で最初の組織的な土一揆として知られています。この一揆において近江国の運送業者である馬借が果たした役割や背景として、最も適切な説明はどれかを選びなさい。（2020年 静岡県公立入試 類似）
1. 馬借は幕府から独占販売権を得ていた座の一員であり、特権を守るために農民を武力で鎮圧した。
 2. 馬借は惣と呼ばれる農民の組織から独立した存在であり、年貢の減免を求めて各地の守護大名と戦った。
 3. 馬借は京都の自治を担う町衆と協力し、室町幕府の将軍を追放して新しい政府を樹立した。
 4. 馬借は各地の情報を素早く伝達し、広い範囲の農民が団結して徳政を求めるきっかけを作った。
- 問8 室町時代後期の1488年、加賀国（現在の石川県）において、浄土真宗の信仰で結びついた武士や農民らが守護大名の富樫政親を倒した出来事を何といいますか。（2017年 茨城県公立入試 類似）
1. 島原・天草一揆
 2. 承久の乱
 3. 土一揆
 4. 加賀の一向一揆
- 問9 室町幕府の第3代将軍である足利義満が、朝貢という形で明との貿易（日明貿易）を行い、そこで得た豊かな経済力を背景に保護・奨励した出来事として、最も適切なものはどれですか。（2019年 岩手県公立入試 類似）
1. 出雲の阿国という女性を保護し、歌舞伎の原型を作らせた
 2. 雪舟を明へ渡航させ、水墨画の技法を学ばせた
 3. 観阿弥・世阿弥の親子を重用し、能を大成させた
 4. 千利休に茶室を造らせ、わび茶を完成させた
- 問10 室町時代の社会情勢について述べた次の文のうち、当時の農民による組織的な動きと、その目的の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2020年 広島県公立入試 類似）
1. 有力な農民たちが「守護」となり、幕府から認められた権限で独自の税を徴収した。
 2. 自治組織である「惣」に結集した農民が、酒屋や土倉を襲って借金の帳消しを求めた。
 3. キリスト教を信仰する農民が、過酷な年貢の取り立てに反対して領主の城を包囲した。
 4. 幕府が組織した「五人組」によって、農民たちは年貢の納入を相互に監視し合った。
- 問11 室町幕府の第3代将軍である足利義満が、明との間で朝貢形式の貿易を開始した目的や背景として最も適切な説明はどれですか。（2017年 大阪府公立入試 類似）
1. キリスト教を広めることで、仏教勢力に対抗しようとしたため
 2. 武士の力を抑えるために、明から軍事的な支援を受けるため
 3. 幕府の財政を潤すとともに、自身の権威を内外に示すため
 4. 国内の米不足を解消するために、東南アジア産の米を輸入するため
- 問12 15世紀に尚氏によって統一された琉球王国は、地理的条件を最大限に活用し、日本、中国、朝鮮、東南アジア諸国を繋ぐ役割を果たしました。この時に行われた、各地の産物を仕入れて他国へ転売することで利益を得た貿易の名称として正しいものはどれですか。（2020年 高知県公立入試 類似）
1. 朱印船貿易
 2. 勘合貿易
 3. 南蛮貿易
 4. 中継貿易
- 問13 中世の日本において、商人や手工業者が公家や寺社などの権力者に税を納める代わりに、営業の独占権や保護を受けるために結成した同業者団体を何といいますか。（2021年 岐阜県公立入試 類似）
1. 問屋
 2. 座
 3. 惣
 4. 株仲間